

四国健康ナビ



徳島大学病院患者支援センター
肝疾患相談室

立木 佐知子 看護師



肝炎医療コーディネーター（Ｃｏ）をご存知でしょうか？国の肝炎対策基本指針（2016年6月改正）では、肝硬変・肝がんへの移行者を減らすことが肝炎対策の目標に掲げられています。肝炎医療Ｃｏはこの目標を達成するため、肝炎患者さんやその家族への支援をする人材として各都道府県で養成され、

患者を支援 肝炎医療コーディネーター

80%はウイルス性肝炎、残りの約20%は自己免疫性肝炎や薬剤性、脂肪肝、アルコールによるものです。ウイルス性肝炎は時間の経過とともに慢性肝炎から肝硬変・肝がんになる可能性があります。

肝がんの原因の約80%がウイルス性肝炎によるものと言われています。

肝硬変・肝がんにならないためには、まずは早めに肝炎ウイルス検査を受けてください。肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、血液検査で調べることができます。でき、県の委託医療機関や保健所では無料で検査を受けることもできます。ウイルス性肝炎の治療は進歩していて、C型肝炎は95%以上の人がウイルスを排除できるようになっています。B型肝炎も適切な治療でウイルスの増殖を抑え、肝硬変や肝がんに行進するのを防ぎます。治療や治療後の定期検査に利用できる助成制度もあります。検査や治療に関することなど、ご心配や疑問解決の助けに肝炎医療Ｃｏがお役に立てると思います。当相談室のホームページには、肝炎医療Ｃｏが在籍している施設が掲載されています。相談の際、参考にしてください。

全国で17年度までに約1万2000人が認定されています。

主な役割として、肝炎に関する知識や情報を提供し、肝炎患者やその家族からの相談に対する助言や、行政・肝疾患診療連携拠点病院など相談窓口の案内、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、陽性者への受診勧奨、治療などに対する医療費助成制度の説明などが挙げられています。

なぜ、肝炎の対策が肝硬変・肝がんへの移行者を減らすことになるかをお話します。肝臓病というとお酒を飲む人の疾患というイメージがあるかもしれませんが、肝臓病の原因の約